

令和5年度の吉田探究について

1 吉田探究について

- (1) 「育成したい6つの資質・能力」と「探究課題（学習内容）」の2点で小中学校がつながりを持った実践を展開する。

【育成したい資質・能力】

- ①知識・技能 ②問題発見力 ③コミュニケーション力
④内省する力 ⑤行動力 ⑥郷土愛

【探究課題】

小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
吉田町内の自分の住む地域	吉田町の福祉	吉田町の防災	吉田町と自分の生き方・キャリア教育	吉田町の魅力	吉田町と他市町との比較	自分の生き方、吉田町への提言

- (2) 各教科等との関りを意識しながら、探究のサイクル（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）に沿った学習活動を展開する。
(3) 育てたい姿：吉田の精神を受け継ぎ、未来を切り拓くことのできる子供
(4) 小学校5年生は吉田町の防災について学び、ジュニア防災士の資格を取得する。

2 吉田探究担当者会について

- (1) 小中学校のつながりのある教育の中核である吉田探究について検討する。
(2) 各学校の担当者は、担当者会の内容を全教職員に伝達するとともに、吉田探究のリーダーとして、継続的に実践の改善に取り組む。
(3) 第2回担当者会は、教育委員、校長及び担当者による授業参観を行う。その他の教職員も参観できるので、特に校種の異なる学校の教職員が積極的に参観できるよう呼びかける。（自彊小学校 10月11日（水）PM）

3 探究課題について

吉田探究は、「育成したい6つの資質・能力」を育成するため、以下のように探究課題を設定し、学習を進める。

- ① 共通して取り組む探究課題
② 学校や児童生徒が設定する探究課題

(1) 共通して取り組む探究課題について

- ◇各学年において必ず取り組む。
◇小学校3年生から中学校2年生までの探究活動を、中学校3年生が行う「吉田町への提言」につなげる。

(2) 学校や児童生徒が設定する探究課題について

◇課題は、吉田探究で育てたい姿に基づいた上で、児童生徒の実態や関心に応じて設定することができる。

◇各学校の年間計画は、「育成したい資質・能力」を踏まえながら、共通して取り組む課題が充実するように作成する。

4 探究基礎について

(1) 考えるための技法（思考ツール）を学び、情報活用力を高める学習を15分間の短時間学習として実施する。

(2) 小学校12時間分(36回)・中学校15時間分(50回)を実施する。

ア 共通して取り組む内容…中学年：12回、高学年：13回、中学校：14回

イ 学校が設定する内容…中学年：24回、高学年：23回、中学校：36回

(3) 「学校が設定する内容」は、児童生徒の実態を踏まえて、読解力・論理的思考力・情報活用力を高める活動を設定する。各学校の指導計画を共有することで、効果的な教材や方法を取り入れる。

令和5年度 吉田探究について

【育成したい資質・能力】

- ① 知識・技能
- ② 問題発見力
- ③ コミュニケーション力
- ④ 内省する力
- ⑤ 行動力
- ⑥ 郷土愛

【探究課題】

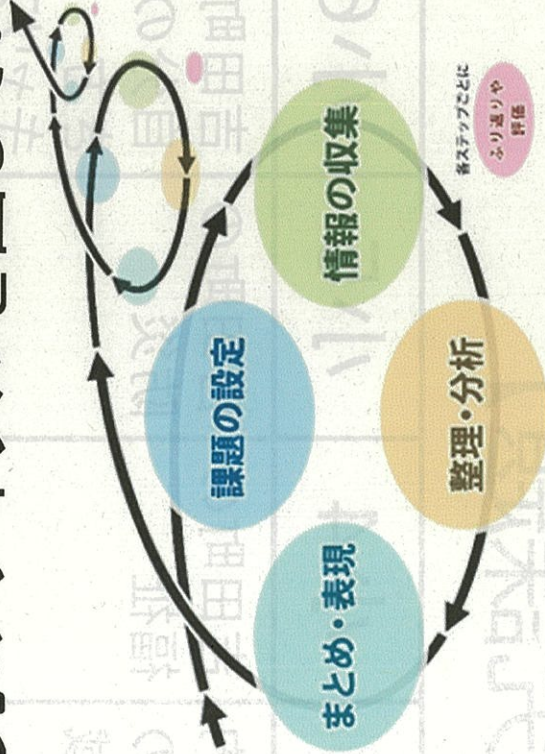
小3	吉田町内の自分の住む地域	小4	吉田町の福祉	小5	吉田町の防災	小6	吉田町と自分の生き方・キャリア教育	中1	吉田町の魅力	中2	吉田町と他市町との比較	中3	自分の生き方、吉田町への提言
----	--------------	----	--------	----	--------	----	-------------------	----	--------	----	-------------	----	----------------

小中のつながりを意識し、探究課題を進めていく

吉田探究をさらに充実させたい



★探究のサイクルを回していく



各教科との関連を意識して探究のサイクルを回していく

【各校の計画】(吉田探究担当者会より)

3～4年生みんな同じ思い
で吉田探究を計画し、マ
ルシェを開催したいな(中
央小)

校内だけの発表ではなく、
他校や地域に発信してい
きたいな(住吉小)



子供の「～してみたい」
が原動力。コミュニティ・
スクールを活用したいな
(自彊小)

役場の方に提言を聞い
てほしいな、小学生に
発表するのも面白そう
(吉田中)



★静岡大学准教授 藤井基貴先生からのアドバイス
◎取り組みのマンネリから脱出しよう！

問う力を育てることが大事

society5.0(質問すれば、数秒で答えが文で返ってくる)を踏まえ
ると、子供自身の問う力⇒質問の質を上げる事が大事

昇華させるためには何が必要か？

調べ学習

勉強

探究学習

研究



計画は変わってもOK エンディングを見据えた年間計画を

エンディング

客観視できる
☆他校の実践を見る・
交流するなど⇒
切り口の違い・まとめ
方について互いに学ぶ
ことができる

他へ広げる
☆地域へ発信する
発表の場が広がる等

クライマックス (ピーク)

見せ場をどう作るか
子供の達成感があるもの

スタート 問いの質

すぐに解決でき
るものでは、長
く自走できない

PCを中心とする作業だけで終わらない。
活動を組み込んだ計画

